

能登半島チャリティーコンサート 9月1日(日) 戸畑区 ウェルとばた

令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、現在、復旧・復興の途中です。青少年ボランティアは、今回、能登への応援も込めてチャリティーコンサートのお手伝いをしました。



○ 今回の能登半島チャリティーコンサートの開催に、演奏者やスタッフ、ボランティア、行政など、とても多くの人々が携わり、その皆さんの協力する心がとてもすごいなと思いました。募金箱を持って募金を呼びかけると小さな子どもが、お母さんに「募金しようよ。」と言って募金してくれて、とてもびっくりしました。小さい子どもなのに、募金したいと思える心があるのが、とても素敵だと思いました。誰かが大変な思いをしているとき、ただ見て見ぬふりをするのではなく、周りの人が支えることが大切だということが分かりました。今後、困っている人が周りにいたときは、助けてあげたいです。

【小倉南高校1年】

絵本カーニバル 9月13日(金)~16日(月祝) 小倉北区 AIMビル子育てふれあい交流プラザ

絵本カーニバルでは、会場いっぱい、絵本が広がっています。ボランティアは、事前研修(9月8日)を受け、来所する子ども達が、絵本の楽しさを味わえるようにサポートしました。

○ 絵本カーニバルのボランティアでは、様々な年齢のお子さんとお会いし、それぞれの年齢層の子どもによって絵本との関わり方が異なるということが分かりました。0~2歳くらいのお子さんは、絵の面白さや読み聞かせしてくれる人の声やトーンなどを楽しんでいるのに対し、年齢が上がると話の内容や声の抑揚を楽しんでいるといった様子が見られました。よって、絵本というコンテンツは、子どもの発達過程において重要な役割を果たす上、読み聞かせという行為を通し他者とのコミュニケーションも図ることができるものだと感じました。

【北九州市立大学4年】

勝山パークシネマ 9月14日(土)~16日(月祝) 小倉北区 勝山公園

勝山パークシネマは、公園の大芝生広場を舞台に大画面で映画を観るイベント。青少年ボランティアは、イベント会場内の楽しみいっぱいのブースでの運営業務などをがんばりました。



○ 子ども達のお世話が主な活動内容だったのですが、これからの将来について考えていく中で、子どもに関わる仕事もいいのではないかと感じました。今後、バイトや就職をするにあたって、その想像ができました。このボランティアの経験を活かして、今後につなげていきたいです。また、機会があればよろしくをお願いします。

【第一学院高校1年】

障がいっこ集合 みんなの運動会 9月21日(土) 小倉北区 障害者スポーツセンターアレアス

北九州市内の放課後デイサービスの施設が集まって、運動会を開催しました。「障がいという特性があっても思いっきり運動会を楽しもう!」というテーマのもと、青少年ボランティアは、用具の出し入れのお手伝いや子ども達の見守りをしました。



○ 今回初めて障がいのある子ども達と交流しました。自分よりも年下の子どもが多く、どんな距離感で話せばいいのかわかりませんでした。しかし、前回の「子どもの館」でのボランティア経験を思い出し、一人一人の目線に合わせて話すことを心掛けました。競技が進行していく中で、ゴールでハイタッチをしてくれたり、相手の子から話しかけてもらえたりすることが多くなり、とても楽しく嬉しい気持ちになりました。障がいのあるなしに限らず、「みんなで体を動かすって楽しい。」と心から思うことのできたボランティアでした。誰もが自由に明るく楽しくすることができるこの企画が素敵だと思いました。

【中間高校3年】

北九州からあげ王座決定戦 9月21日(土)、22日(日) 門司区 門司港レトロ中央広場

お客さんの投票によって「からあげ王座」を決定し、北九州のからあげ文化を広めようというイベント。青少年ボランティアは、受付でのチケット販売や投票券の配布、ゴミの始末や会場撤収のサポートなど様々な業務を長時間がんばりました。



○ 今回の活動からボランティア活動がどれほど苦勞するのかを知ることができた。また、ボランティアよりも早く来ていた今回出店されていた方々は、たとえ優勝できなくても自身の誇る唐揚げを食べてもらいたいと常に客を誘っている姿を見て、とても感動しました。今回を通して最後まで全力で通す大切さを知り、この経験を活かしていきたいと思う。【北筑高校3年】

○ 出店しているお店の方と関わっていく中でコミュニケーションの大切さを改めて学びました。また、多くのお客様が来てくださり、行列になった際にどうやったら効率的に動けるかなどの考え方をすることができたので、そのような広い視野を持った行動を今後もできるようにしたいと思います。

【西南女学院大学1年】

わくわくサイエンスフェスタ2024秋 9月22日(日) 八幡東区 北九州市科学館分館

北九州市科学館(スペースLABO)が実施する秋のイベントです。「市民に身近な科学、工作の楽しさを味わってほしい。」という願いのもと、地元企業やいくつもの大学、高等専門学校などの協力で実施されます。青少年ボランティアは、実験や工作の補助などの活動をしました。



○ 初めて受付のボランティアを担当してみて、まず受付の人はスタンプラリーの用紙を配るだけでなく、どここのブースで何をしているのかを把握しておかなければならないことを知りました。実際にしているときに、「〇〇は、どこですか。」や「トイレの場所はどこですか。」などを聞かれたことがありました。その他に、場所だけでなく水や紙コップが無くなったら補充しておき、来てくださった人がいつでも飲めるようにしておくことも大切だと学びました。ただ、受付としてスタンプラリーを渡すだけでなく、他のことにも目を配っておくことの重要性を感じたので、このことを今後活かしていきたいと思っています。

【自由ヶ丘高校2年】

小倉南区子どもまつり 9月28日(土) 小倉南区 JRA小倉競馬場

子ども達や親子連れの家族が、楽しく過ごせる催し物がいっぱいの「小倉南区子どもまつり」です。青少年ボランティアは、イベントの運営補助を担い、活動しました。



○ 今回のボランティア活動は、お客さんを自分が担当しているブースに呼び込むことだった。最初は恥ずかしくてあまりできなかったが、だんだん慣れてきた。将来、営業の仕事に就いた時に役に立ちそうだった。

【東筑紫学園高校1年】

○ 一人で色々な体験をして、右も左も分からず不安だったけど、作業をするうちに慣れ、子どもと接する機会などあまりないため、新鮮でした。様々な初めての経験をして、とても良い機会になりました。これからは、あまり緊張しないようにボランティア活動をしていきたいです。ボランティア活動で分からない事が多かったので、もっと周りの人に聞けるようにしたいです。

【小倉商業高校2年】

○ 自分にできることを探すことが難しく注意深く周りを見る大切さを感じました。今後は、何事にも周りを注意深く観察し、社会の一員として行動していこうと考えました。

【小倉商業高校2年】